

令和5年度 周南市地域創発事業委員会 会議録

1. 日 時 令和5年5月31日(水) 18時00分～21時30分
2. 場 所 [第1部][第3部] 周南市役所2階共用会議室 E
[第2部] 周南市役所1階多目的室
3. 出席者 住みよい菊川をつくる会 (以下、菊川)
大河内地区コミュニティ推進協議会 (以下、大河内)
岐山地区コミュニティ推進協議会 (以下、岐山)
徳山小学校区コミュニティ推進協議会 (以下、徳小)
(計28名)

周南市地域創発事業委員会
河田 正樹 委員長
竹尾 真実 委員
松浦 和子 委員
河津 浩之 委員
4. 事務局 地域振興部 橋本
地域づくり推進課 神杉、三牧、福田
5. 傍聴者 30名
6. 会議内容

【第1部】(非公開) 18:00～18:40 (共用会議室 E)
 1. 事業審査会の実施方法について
 2. 対象事業の概要説明
【第2部】(公開) 18:50～20:35 (多目的室)

事業審査会

【第3部】(非公開) 20:45～21:30 (共用会議室 E)

意見・助言等の取りまとめ

【第2部】発言者・発言内容

発言者	発言内容
事務局	<p>只今より令和5年度周南市地域創発事業委員会を開催する。 それでは、早速「事業審査会」に移る。 注意事項として、各団体の発表時間が残り3分になったら、通知する。また、終了時間になったら、ベルを鳴すので、発表の途中であっても、まとめに入っていたく。 では、はじめに「住みよい菊川をつくる会」より、発表をお願いします。</p>
菊川	(プレゼン資料により発表)
事務局	<p>質疑応答に移る。 委員から、質問等をお願いします。</p>
委員 A	「移動販売車」の実態調査では、どういったことがわかったか。
菊川	<p>去年の4月に調査を始めた時には、2社しか移動販売車が来ていなかった。その後2社増えたので、移動販売車が来ていることは周知を行った。 また、今後市から住みよい菊川をつくる会に場所を貸与していただいて、菊川市民センターに移動販売車を持ってくることを計画している。</p>
委員 A	買い物については、ある程度充実してきており、課題はクリアされているということか。
菊川	クリアされているとは思わないが、2社から4社に増えたことなど以前よりは便利になっている。引き続き様子をみていく必要があると考えている。
委員 B	人を集める時の工夫があれば教えてほしい。
菊川	<p>「ハタチの集い」はその世代の中心になる人に声をかけ、同学年でLINEグループがあるため、それを活用している。 全体的な事業の広報としては、SNS（LINE、Twitter、Instagram、Facebook）のアカウントをそれぞれもっており、特にTwitterが稼働している。フリーマーケットの取り組みの際にも、こちらから頼んだわけではないが、レノファ山口がリツイートしてくださり、情報発信をしていただいた。横の繋がりができているため、色々な事業が色々なところで告知され、人が集まりやすくなっていると思う。</p>
委員 C	多彩な事業が展開されており、素晴らしいと思う。菊川地区は住民の方からの意見を取り上げてプロジェクトに反映させていくと昨年おっしゃっておられ、それが「花グループ」や「お茶グループ」に繋がったと思うが、どういった方がどういった経緯でアイデアを出されたのか。
菊川	<p>「花グループ」は夢プランを立ち上げた時に、夢プランメンバーの方が個人的に行いたいということだったため行った。 「お茶グループ」は夢プランメンバーの方が周りでそういうことがしたいという人を見つけて、夢プランと一緒にやることとなった。まだ夢プランというプロジェクトがあることを地域の方に十分に知られていないということもあったため、夢プランメンバーからそういう思いを持っている人に声をかけさせてもらった。</p>

委員 D	<p>今後の問題点として挙げている自主財源の確保について、住みよい菊川をつくる会の財源を使うことなくやっていきたいと書かれており、今回の取り組みとして、お茶を販売するということが、生育から収穫までの期間はどのくらいかかるのか。</p> <p>また、お茶といっても緑茶、烏龍茶、和紅茶などがあるがそういった方向性も考えているのか。</p>
菊川	<p>「お茶グループ」では、昨年お茶の苗を植えることから始めたが、苗の成長にはかなり時間を要するため、新茶がとれるのは3年後くらいではないかと思う。今年の新茶の時期には、四熊に個人所有のお茶の木があり、そこで茶摘みをさせていただき、お茶を作った。次回の会議で、そのお茶を試飲し、今後の方向性についてみんなで話し合う予定。</p>
委員 D	お茶の販売は、今後の活動の収入源になると思うので、期待している。
委員 A	生育自体は順調か。
菊川	<p>今年に関しては、実際に植えてみて思ったほど伸びなかったというのが正直なところではあるが、他の地区でお茶を栽培されている方がいらっしゃるの、今後話を聞いてみようと思っている。ただ、四熊にお茶の木が何本かあり、その持ち主の方が、快く使ってくださいと言ってくださっているので、お茶の木がまだ生育しない間は、そちらのご厚意に甘えながらできることを模索していきたいと考えている。</p>
事務局	<p>以上で発表を終了とさせていただく 続いて、「大河内地区コミュニティ推進協議会」より、発表をお願いします。</p>
大河内	(プレゼン資料により発表)
事務局	<p>質疑応答に移る。 委員から、質問等をお願いします。</p>
委員 B	委員は何名か。
大河内	18名。
委員 B	ワンコイン草刈りサービスは、地域の方に依頼するのか委員の方が行うのか。
大河内	まだ実現していないが、まずは仕組みづくりを委員の中で検討し、実際に行う時には地域の方々の協力を得ながら実施していこうと考えている。
委員 B	周りの人を巻き込んでいく際に、声かけという部分で何か考えていることはあるか。
大河内	委員の中に、コミュニティ推進協議会のメンバー、社協、自治会長がいるので、そういったネットワークを使っていきたい。
委員 A	人材確保が今後の課題になると思うが、その点どのようにお考えか。
大河内	<p>人材確保はどここの地区でも課題になると思うが、大河内地区は大きな団地3つで構成されており、昼間は外にお勤めに出られている方が多く、地元意識が強い方が少ないのが現状。ただ、私自身生まれ育った場所であり、同級生や小さい頃から一緒に育ってきた仲間がいるため、そういった方々を巻き込んでいきたいと思っている。</p>

委員 C	児童・生徒に行ったアンケートで、好きなところの3位で生活環境 19.2%、困っているところの1位で生活環境 50.0%という結果になっているが、生活環境をどんな風に捉えて児童・生徒が回答したのか。
大河内	具体的には聞いていないが、危険な箇所が少なく暮らしやすい生活環境が評価された一方で、商業施設や塾が近くにないことから困っているところにも挙がっているのではないかと考えられる。
委員 C	アンケートに回答してくださった方々に対してフィードバックをすることで、自分の書いた意見が反映されたことを認識し、これからの取り組みに参加してみようという気持ちに繋がると思うが、フィードバックは検討しているか。
大河内	アンケートを取って終わりではなく、こういうことをやっているという情報発信も必要になってくると思うので、今回作成したリーフレットのように、今後もお知らせする機会は設けていきたいと思う。
委員 A	実施したアンケートは、自由回答か選択肢か。
大河内	小学生は選択肢で、大人は自由回答で実施した。
委員 A	同じ選択肢でやった方が、大人と子供の考えていることがわかるのではないかと思います。
委員 D	令和5年度の収支予算書で消耗品費が大きいと思うが、内訳を教えてください。
大河内	グループが活動していく上で、必要な物品の購入や会議の資料づくりに充てる予定。
委員 D	補助金を有効活用して、今後も継続的に取り組めるようにしてほしい。
事務局	以上で発表を終了とさせていただきます 続いて、「岐山地区コミュニティ推進協議会」より、発表をお願いします。
岐山	(プレゼン資料により発表)
事務局	質疑応答に移る。 委員から、質問等をお願いします。
委員 B	どのような工程でマップを作る予定か。
岐山	各委員の住んでいる地域のマップを各自作成し、来月の会議で持ち寄り、歴史や文化など何に焦点を置くかを今後話し合う予定。 それによって、新しいマップを作りあげ、来年度以降活用していこうと考えている。
委員 A	今後自主財源の収益になるようなものは考えているのか。
岐山	今後マップに QR コードを入れるなどして、そのマップで地区をまわれるようにして、マップが売れるようになれば良いと思っている。

委員 A	発表の中で、毛利家のことがあったが、毛利さんが YouTube を行っているので、参考にしてほしい。
委員 C	マップを使って地区をまわってほしいということだったが、どんな方にまわってほしいと考えているのか。
岐山	ふるさと探訪ハイキングをコミュニティが行っているため、それをより拡大して地域の方にマップを使用していただきたい。また、小学校の授業の一環や世代を越えての動きにも広げていけたらと考えている。
委員 C	マップづくりのメンバーに、実際に来てほしい方に近い方はいるのか。
岐山	現時点で小学生は入っていないが、小学生の意見を取り入れることも検討している。
委員 C	何が書いてあれば小学生が興味を持ってくれるのかなどについて、小学生と一緒に考え、意見を取り入れることができれば良いと思う。
委員 D	アンケート実施により、取り組みたいことが 10 個挙げられているが、毎年 1 つずつ実施する予定か。
岐山	今年度作成するマップを基に、来年度他の取り組みもあわせて行動におこしていくが、マップは今後もバージョンアップしていこうと考えている。
事務局	以上で発表を終了とさせていただきます 続いて、「徳山小学校区コミュニティ推進協議会」より、発表をお願いします。
徳小	(プレゼン資料により発表)
事務局	質疑応答に移る。 委員から、質問等をお願いします。
委員 B	なぜ年 3 回 1 月、4 月、9 月始まりのカレンダーにされたのか。
徳小	9 月を過ぎると 1 月始まりのカレンダーが発売されると思うが、それだけではなかなか収益に繋がらないと考え、始まり月の違うカレンダーにそれぞれ募集した写真を掲載することで、収益に繋げていきたいと考えている。
委員 B	購入対象は地域住民の方か。
徳小	もちろん地域住民の方も購入対象だが、地域外の方でも購入したい方がいるかもしれないので、ネット販売なども含め、色々検討している。
委員 B	一冊いくらで販売する予定か。
徳小	一冊 500 円から 1,000 円くらいになると思う。製作費に少し上乗せした価格に設定しようと考えている。
委員 A	内容が盛りだくさんであり、優先順位が大切になってくると思われるが、どのようにお考えか。
徳小	現段階では何を優先するかまでは決まっていないが、全体の取り組みのうち、いくつかを 1 つに統合することも今後考えられる。

委員 C	夢プランのメンバーに入ったきっかけを教えてください。
徳小	<p>a さん:この地域に移り住んできたばかりだが、外から入ってきた人の目線も大切だと思ったため、メンバーに入った。</p> <p>b さん:住んでいる地域がどんなところか知りたかったため、メンバーに入った。</p> <p>c さん:地域の交流が少ないなと感じ、自分に何かできることはないかと考え、メンバーに入った。</p> <p>22 名中 11 名が応募でメンバーに入ってくれたが、こういった方々が今後どうやって地域のコアメンバーになっていただくかが今後の課題だと考えている。</p>
委員 C	市外や県外の方がこれを機に入ってくれたことは、夢プランの本質的な意味として、とても価値のあることだと思う。これからも新しい方の参画をぜひ続けていきたい。
委員 D	徳山小学校区が中央地区と関門地区の 2 つの地区で構成されているということだが、実行委員の地区構成はどうなっているのか。
徳小	バランスは大事だと思うが、いずれ 2 つの地区を 1 つにしていく必要があると考えており、地域としてもそういった動きになってきている。
委員 D	おっしゃられたことを重々理解した上で、広い地区になるとそれぞれの地域で違う問題点があると思うが、そこを 1 つにしてみんなで考えていこうということが今回の夢プランになっていると思う。
委員 D	最終目標として新しい人材の発掘、今後の展望として地域の人材育成を進めていきたいとあるが、どのような人材を育てていきたいと考えているのか。
徳小	コミュニティの中に色々な団体があるが、ほとんど同じメンバーが活動しているのが現状であり、そういったところを考えると、世代交代が大事であると思う。具体的には、この夢プランの実行委員を行った方が、他の団体に加入することや、他の団体のイベントに参加していくことも 1 つのアイデアとしてあると思う。
事務局	<p>以上で発表を終了とさせていただきます。</p> <p>以上で、令和 5 年度周南市地域創発事業委員会を終了とする。</p> <p>なお、本日の意見・助言等については、後日通知する。</p>